

農業系+協力隊特集

今年から入った農業に携わる皆さんの声を聞いてみました！

小原 隆由 隊員 8 か月目



八雲町に来たきっかけ

元々、大学が北海道だったということもあり、いつか北海道で農業を始めたいという憧れがありました。そこで、道内を色々回っているうちに八雲町と出会い、パノラマパークからの景色や美しい自然の風景を見てここに決めました。

今の活動について

ネギを中心に、農作業全般をさせていただいています。季節によって、ミヨウガやレタスを扱うこともあり、時々、花農家さんからは、かすみ草の作業を教えていただくなど、様々な経験をさせていただいています。

八雲町に来て感じたこと

住民間で、野菜や魚の物々交換が、日常的に行われているのが新鮮でした。私もよく鮮魚をいただいています。

木村 滉門 隊員 8 か月目



八雲町に来たきっかけ

就農フェアなどで相談を進める中で、八雲町は新規就農を目指すのに良いという話を聞く機会が多くあり、一週間の農業体験に参加させていただいたのがきっかけでした。

実際、八雲町の就農受け入れ体制はとても整っていて、農家の皆さんも外から来た僕にとっても良くしてくださるので、ぜひここで就農したいと思いました。

今の活動について

軟白ネギでの就農を目指しているので、軟白ネギに関する作業をしています。他にも受け入れ農家では、米やミヨウガも作っているのでその作業もさせていただいています。

八雲町に来て感じたこと

買い物先では、地元の人達の会話が生まれ、家々では作物の物々交換がある所を見ると、都会にはない人の「繋がり」を実感します。

西田 しのぶ 隊員 5 か月目



八雲町に来たきっかけ

農業フェアの八雲ブースで声をかけてもらったのがきっかけです。元々、夫が仕事で何度か八雲に来ていたというのもあり、生活に関して不安はありませんでした。

今の活動について

軟白ネギを中心に教わりながら作業しています。私は女性なので、まずは身体作りから始めようと思っています。ネギでの就農を目指しているのは、他の収穫物に比べて軽重で、老後も長く続けられるからだというのも理由の一つです。

八雲町に来て感じたこと

私は八雲町の国道沿いに住んでいるのですが、ほとんど騒音を感じる事がなく、夜はぐっすり眠れるのが印象的でした。ただ、早朝になるとスズメが家の前でよく鳴くので、朝はすぐ起きてしまいます(笑)。

協力隊生活重言記

協力隊の「今」もまとめました！

12月末に任期満了となる木村隊員

協力隊としての三年間を振り返って

あつという間でした。生き物を管理するとい
うのは、地道ですがとても責任が重く、大事
な作業なので、それを3年間大きなミスも無
くやってこれたのは、同じ研究施設で働く皆
さんのおかげだと思っています。主な活動は
ダルス（海藻）とクロソイなどソイ類の陸上
養殖で、どちらも一定の成果を上げています。

熊石に住んでみて

幸い、地元住民の方にはよくしてもらって
いて、わざわざ研究施設の方まで話しかけに
来てくれる人もいます。休みの日は、遠出はあ
まりしないのですが、時々地元の子供たちと
一緒に釣りをすることがあります。

これからについて

このままこの水産試験研究施設で仕事を続けて
いくつもりです。



熊石水産試験研究施設で働く木村隊員

どーなん道南祭

道南の市町が集まるイベント

深田隊員が所属する、道南を盛り
上げることを目的とした協議会「
Discover South
ern Hokkaido」が、1
0月23〜24日の2日間、函館
市の複合施設シエスタハコダテに
て、16の市町が集まるイベント
「どーなん道南祭」を開催しまし

た。当日は、音楽イベントや各市
町の特産品の販売を行い、八雲町
からは宗八ガレイを使った宗八ポ
テトサラダサンドや、八雲町の牛
乳を使ったミルクプリンなどを販
売しました。イベント当日は、平
野隊員も呼び込みや誘導などの運
営補助を行いました。2日間の施
設動員数は、約1万人を記録して
おり、大成功に終わりました。



施設内で案内をする深田隊員

新しい協力隊員

博物館での経験を生かして

10月から八雲町木彫り熊資料館
に半田幸（はんだみゆき）さんが
協力隊として配属されました。
半田さんは栃木県出身で、以前は
栃木県立博物館に勤めていました。
資料館での活動にもその経験を活
かしていきたいことです。



資料館の熊の剥製と半田隊員



主催メンバーの皆さん

八雲町土地やおこし協力隊 SNS



Face book



Twitter



instagram



編集後記

協力隊同士の連携

今回は農業・水産面で活動
する協力隊の方を中心に取り
上げさせてもらいました。
実は同じ地域おこし協力隊と
いっても、活動内容が違えば
普段はほとんど会う機会があ
りません。現に、今回の通信
作成で初めて会う方もいまし
た。これは、それぞれの活動
場所が業種によってまったく
違うため仕方がないことなの
ですが、八雲に魅力を感じて
来た移住者という点では皆同
じなので、今後は同じ協力隊
として何か合同で出来る活動
を見つけていきたいです。
(上田)